

第20期 事業報告

2025年1月1日から12月31日まで

事業の経過及びその成果

市場動向

● **国内市場** コロナ後の回復が一段落し前年並み

● **海外市場** 中国化粧品市場は政策の下支えもあり
消費の持ち直しの動きがみられる

連結業績総括

● **連 結** 売上は前年並み、営業利益は13%増の増益

● **国 内** ポーラは減収するもオルビスの伸長が寄与

● **海 外** ポーラは中国の店舗整理を受け減収
ジュリークの損失改善が順調に進捗

連結業績

売上高

1,702億円

(前期比 ▲0.0%)

営業利益

156億円

(前期比 +13.6%)

経常利益

170億円

(前期比 +5.8%)

親会社株主に帰属する
当期純利益

94億円

(前期比 +2.0%)

営業利益率 9.2%

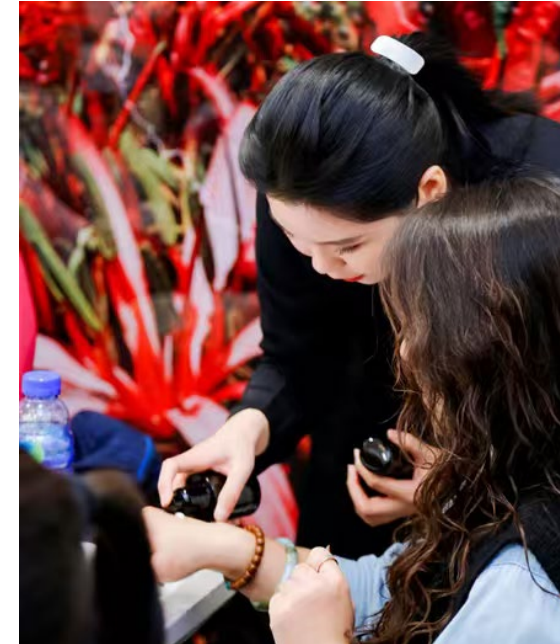
ROE 5.8%

ビューティケア事業ブランド別業績

新B.Aは好調も、サロンチャネルの顧客減が継続し減収



ポーラ最高峰シリーズB.Aをリニューアル



中国で新B.Aの顧客イベントを開催

戦略商品のヒットによりスキンケア伸長し増収、2桁の増益を継続



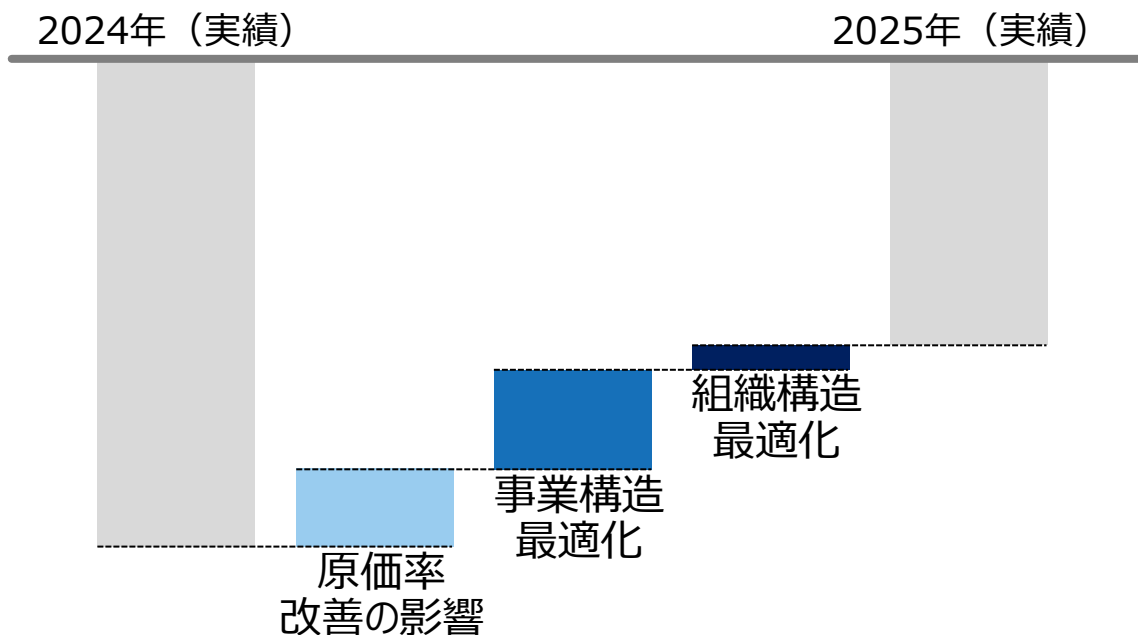
クレンジングオイルが三大美容誌・アットコスメで高い評価を獲得



化粧品専門店等は高い成長率を維持

抜本的な構造改革に注力し10億円の損失改善

営業利益増減分解



豪州を中心に保湿クリームの販売が好調

育成ブランド

新規事業も収益貢献し、育成ブランド全体で損失改善

DECENCIA



ディセンシア最高峰シリーズ
をリニューアル

THREE



オリジナル精油配合の
ホリスティックケア商品を発売

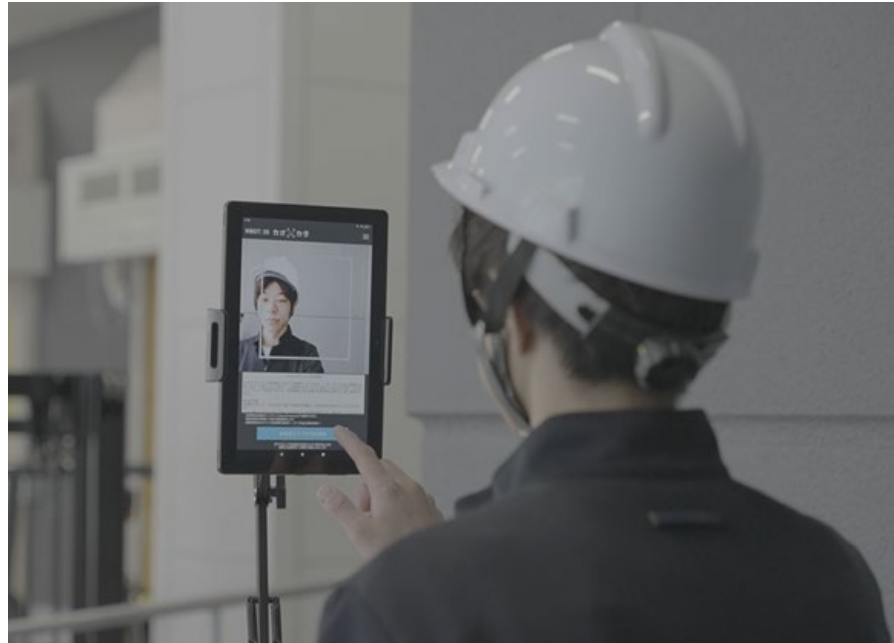
FUJIMI



ブランド体験ができる
ポップアップストアを開催

育成ブランド

新規事業も収益貢献し、育成ブランド全体で損失改善



暑熱対策AIカメラ カオカラ



美容医療クリニック専売コスメ Dive